

「旅の安全の日」危機管理 模擬訓練 実施概要

②③各社独自シミュレーション設定用

(国内・訪日・海外共通)

I. 実施目的

1. 旅行業界における「安心安全」への意識高揚
2. 旅行安全マネジメントの緊急体制の確認と訓練
3. 旅行保険加入促進

II. エントリーについて

1. 「旅の安全の日Week」として、7/1(火)～7(月)の期間でいずれか1日での実施とする。
2. 模擬訓練への参加方法については、以下の①～③のいずれか一つを選択する。
 - ① 7月1日(水)にJATA共通模擬訓練に参加する
 - ② 7月1日(水)～7日(火)の期間内に各社独自のシミュレーションを設定し、模擬訓練を実施。
 - ③ 実施期間外に各社独自のシミュレーションを設定し、模擬訓練を実施する
3. 社内事情により期間内に実施困難な場合は、7月中及び他月の実施予定日を報告。
4. 自社で定期的に模擬訓練を実施していて、加重実施が不可能な場合はその旨を報告。
5. エントリーにおいては、各社取扱に応じ、国内・訪日・海外の3部門別に各社参加部門を選択。
※ 他月に実施の会社についても、集約・報告を頂く。

昨年実施の「旅行安全マネジメントセミナー」にて、『旅の安全の日に備えて準備すること』のセミナーがありました。アーカイブで視聴可能ですので、必ず事前にご視聴ください。

<https://youtu.be/vKg85UOSGtM>

III. 緊急連絡体制確認概要

1. 緊急連絡体制は、事故発生を想定し、必ず一巡させる。
2. 番号が変更されていないか、常時電源が入っているかを確認し、必要に応じ修正する。
3. 緊急連絡体制一巡に要した時間、対象とされる社員数を報告。
4. 国内旅行・海外旅行・訪日旅行の緊急連絡体制が別の場合は、体制ごとに報告。

IV. お客様安全確認集約概要 (詳細は改めて申し込んだ会社宛にお送りします)

1. 旅行業種 全旅行業種
2. 旅行形態 募集型企画旅行・受注型企画旅行・手配旅行は任意
3. シミュレーション 場所は特定せず、
『緊急事態(大地震・テロ・バス事故等)が発生し人身に関わる被害が出ている状況』のみ統一とする。
(別途シミュレーション設定の要望がある場合は、個別にご相談下さい)
4. 対象都市 国内・海外の各社任意の場所を1箇所以上選定。
5. 確認内容 滞在者数のみ報告か、安否確認まで行うかは各社の裁量とする。

V. 模擬訓練実施後について

訓練実施後は、人数報告だけでなく、各社で検証した課題や問題点をまとめ、現状の安全管理体制や次回の模擬訓練に活かしていきます。

また訓練参加会社は、JATAホームページに掲載予定です。

VI. スケジュール

- 5月18日 「旅行安全マネジメントセミナー」にて『旅行安全マネジメント体制構築のポイント』をレクチャー
 5～6月 『旅の安全の日』模擬訓練アンケート・エントリーシート』において、
 国内・訪日・海外の3部門にてエントリーを集約（締め切り6/12）。訓練概要案内。
 6月下旬 エントリーした会社に対し、実施要綱を案内。
 7月 1日（水）～7日（火） 模擬訓練実施
 実施後 課題・問題点 集約検証

VII. 危機管理訓練フロー（7/1～7）と実施内容

<実施内容の要否>

	実施内容	必ず実施	任意実施	JATA
①	当日朝、JATAより訓練実施案内			○
②	各社にて対策本部設置		○	
③	緊急連絡網 発信	◎		
④	現地情報収集・安否確認		○	
⑤	滞在者数確認	◎		
⑥	取扱支店へ家族対応指示			
⑦	滞在者数報告（問題点・課題報告）	◎		
⑧	滞在者数集約（問題点・課題集約）			○
⑨	JATAより観光庁・外務省へ報告			○

不要

